

ダイバーシティ&インクルージョン

～多様な人材の活躍をサポートし、個々人が活躍できる組織づくりに取り組んでいます～

活躍の場を拡大し、働きがいのある職場づくりに取り組むとともに、ワーク・ライフ・バランスの充実を図り、従業員が働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

「活躍の場」拡大

障がい者の雇用

障がいのある方を積極的に雇用し、それぞれの能力にあった活躍の場を設けています。

障がい者雇用事業所「ごうぎんチャレンジド」 (P56)



感性豊かに絵を描く
ごうぎんチャレンジドまつえの職員

女性・シニアの活躍推進

従業員が挑戦意欲を高め、能力を十分に発揮し、働きがいのある職場環境の整備に努めています。

女性従業員の 管理職への積極的な登用	2023年度末までに女性管理職比率25%以上を目標
多様なキャリアパスの整備	● エリア職（勤務エリアを限定した職種）の キャリアマップ 窓口サービス / 個人営業 / 融資・外為 / 法人営業 研修の充実や実践研修の実施、サポート体 制の強化など、エリア職のキャリア形成を積 極的に支援 ● エリア職の法人営業への配置転換 2020年度実績 67名
	エリア職の法人営業への配置転換 (人) 80 - 60 - 40 - 20 - 0 2018年度 2019年度 2020年度
	準職員・パートタイマーの積極的な行員登用
シニア人材の活躍の場の拡大	● 支店長・出張所長等の役職への積極的な登用 ● 経験を生かした職務開発 コンサルティングの実践 / 若手行職員の教育 / 地域の人材ニーズへの対応

高齢者パートコース(70歳までの継続雇用)の導入

当行で培った知識・経験・能力を生かし、65歳以降も当行で長く活躍できる就業環境を整備するため、パートタイマーとして70歳まで継続勤務できる高齢者パートコースを導入しています。

ワーク・ライフ・バランス

育児・介護と仕事の両立支援

3歳まで取得可能な育児休業のほか、復職後も短時間勤務・時間外労働の免除および制限を子どもが小学校3年生修了まで利用できるなど、両立支援を積極的に行っています。また、男性従業員の育児休業取得促進に向け、ロールモデルを積極的に紹介するなど、意識の醸成を図っています。家族などの介護が必要となった場合は、介護休業を対象家族1人につき通算365日の範囲内で、3回まで分割して利用できます。

●スマイル・ママミーティング(職場復帰サポート)

育児休業者を対象に懇談会や職場復帰直前ミーティングを開催しています。休業者同士や、復職経験者と意見交換することで、充実した育児休業を過ごすとともに、復職後も相談しあえる仲間づくりを行っています。

●プラチナくるみん認定

2018年12月、次世代育成支援対策推進法に基づく「プラチナくるみん認定」を取得しました。



働き方改革

育児・介護と仕事の両立や健康管理の観点から、銀行全体で時間外労働抑制や有給休暇の取得促進に取り組んでいます。また、従業員の多様な働き方の実現を目指して、テレワーク制度とフレックスタイム制勤務を導入しています。

●時間外労働抑制

従業員一人ひとりが時間管理を意識し、効率的かつメリハリをつけた業務運営を促進しています。

●有給休暇の取得促進

年間の有給休暇取得目標を、年間休暇付与日数の8割とし、全ての従業員が充実したワーク・ライフ・バランスを実現できるよう、環境整備に努めています。

●テレワーク制度

柔軟な働き方の実現と危機管理への対応を目的に、自宅等で勤務する在宅勤務と、渉外先、出張先で持出機器を使用して業務を行うモバイルワークを導入しています。

●フレックスタイム制勤務

従来の就業時刻を基本とし、業務の予定や個々の事情に合わせて、一日の勤務時間や始業・終業時刻を変更できます。

「健康経営」への取り組み

2018年9月、「健康経営宣言」を策定し、頭取を健康づくり責任者として、山陰合同銀行グループが一体となって行職員一人ひとりの心と身体の健康の保持・増進を図るための取り組みを行っています。

健康経営宣言

山陰合同銀行にとって、行職員のみなさん一人ひとりがかけがえのない財産です。

みなさんの心身の健康の保持・増進に向け、まっすぐに力強く取り組んでいきます。時間外労働の抑制や有給休暇取得の促進等、みなさんが山陰合同銀行で生き生きとやりがいを持って働ける職場環境の整備を図ります。

「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)ホワイト500」認定

経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において3年連続で健康経営優良法人に認定されました。

グループ企業のうち、山陰総合リース(株)、松江不動産(株)、合銀ビジネスサービス(株)、(株)ごうぎんクレジット、山陰債権回収(株)、(株)山陰オフィスサービスも2年連続で中小規模法人部門で認定されました。



地域とともに歩む ～地域で支える障がい者の自立支援・社会参画支援～

ごうぎん チャレンジド

障がい者雇用事業所



ごうぎんチャレンジドまつえ

2007年9月開設

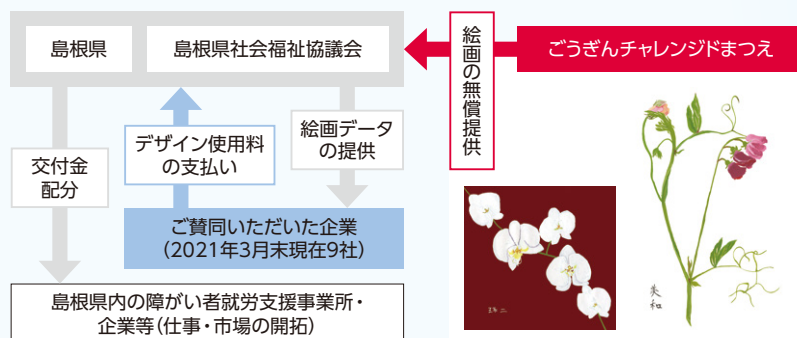
障がいのある職員数: 18名

(2021年3月31日現在 開設当初: 6名)

知的障がいのある方が専門的に就労し、絵画の制作や絵画を使用したノベルティの製作、事務業務を行っています。

ゆめいくワークサポート事業

知的障がいのある方々が持つ芸術的能力により経済的価値を生み出す仕組みを島根県、島根県社会福祉協議会とともに構築し、地域で障がい者の自立を支援する取り組みを行っています。



取り組みにご賛同いただいた企業に、「ごうぎんチャレンジドまつえ」の職員が描いた絵画を使用いただいています。絵画の使用料は社会福祉協議会を経て、障がい者就労支援事業所や企業に還元され、障がい者自立支援の目的に活用されています。

ごうぎんチャレンジドとっとり

2017年9月開設

障がいのある職員数: 13名

(2021年3月31日現在 開設当初: 5名)

精神障がいや発達障がいのある方が主に就労し、ITスキルを駆使した作業など幅広い銀行業務を担っています。

「インターンシップ」「研修プログラム」の提供

鳥取県、鳥取県教育委員会と「障がい者の社会参画支援に関する包括連携協定」を締結し、他の事業所の障がい者職員や特別支援学校の生徒を中心に数多くの研修や視察を受け入れています。地域と相互に連携し、障がい者の個々人の特性に応じた多面的な自立支援、雇用の機運向上に貢献しています。

障がい者の活躍躍進に取り組む国際的イニシアチブ 「The Valuable 500」に加盟

“インクルーシブ(包摂的)なビジネスはインクルーシブな社会を創る”という考えのもと、障がい者がビジネス・社会・経済にもたらす潜在的な価値を発揮できるよう世界の企業が行動することを目的とし、その活動を支援する国際的イニシアチブです。本イニシアチブに加盟することで、これまでの取り組みをさらに発展させてまいります。



世界500社の企業からの賛同を募り、日本企業50社が加盟